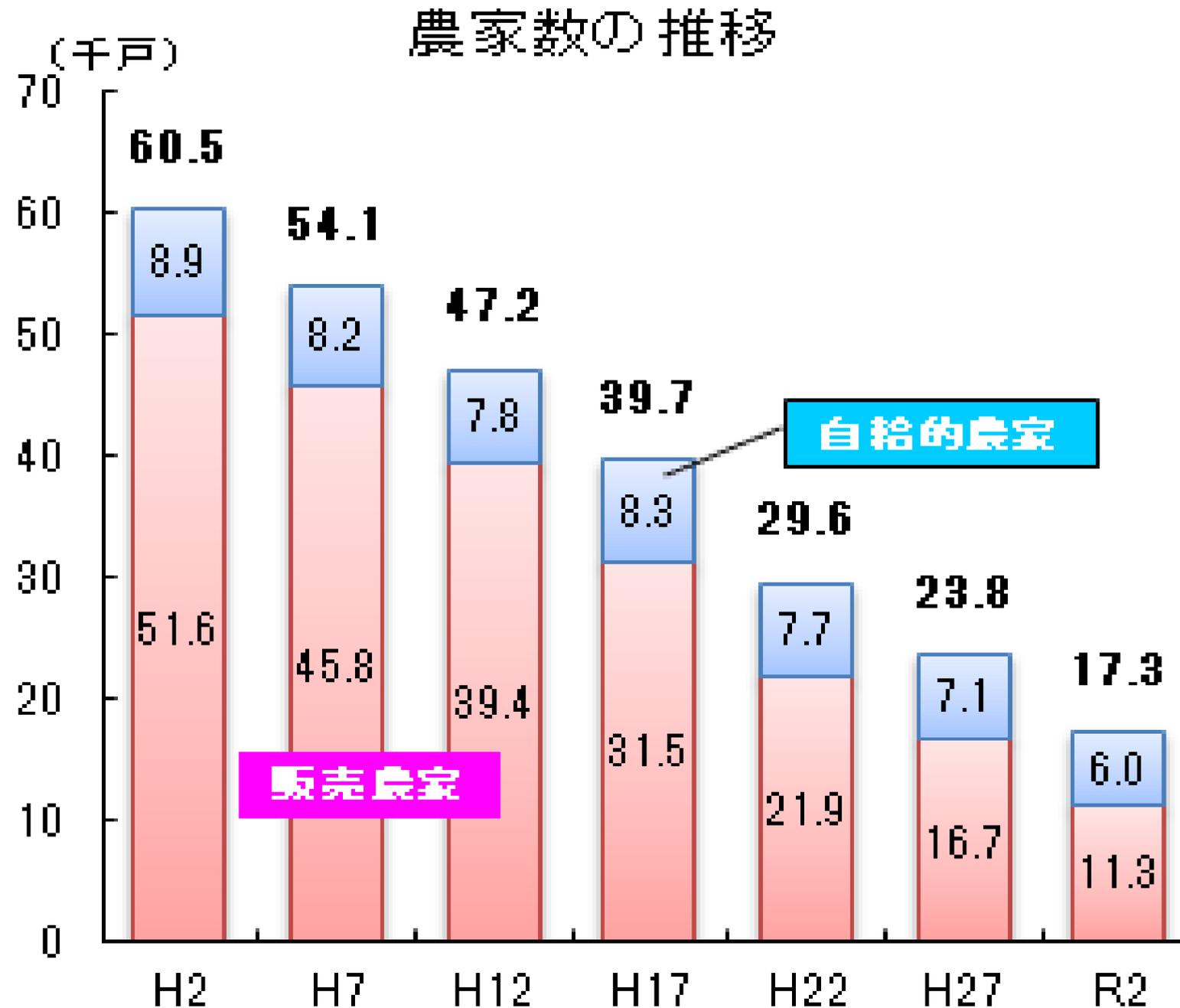


農村地域の現状と課題

富山県農林水産部
農林水産企画課 企画班

農家数の減少

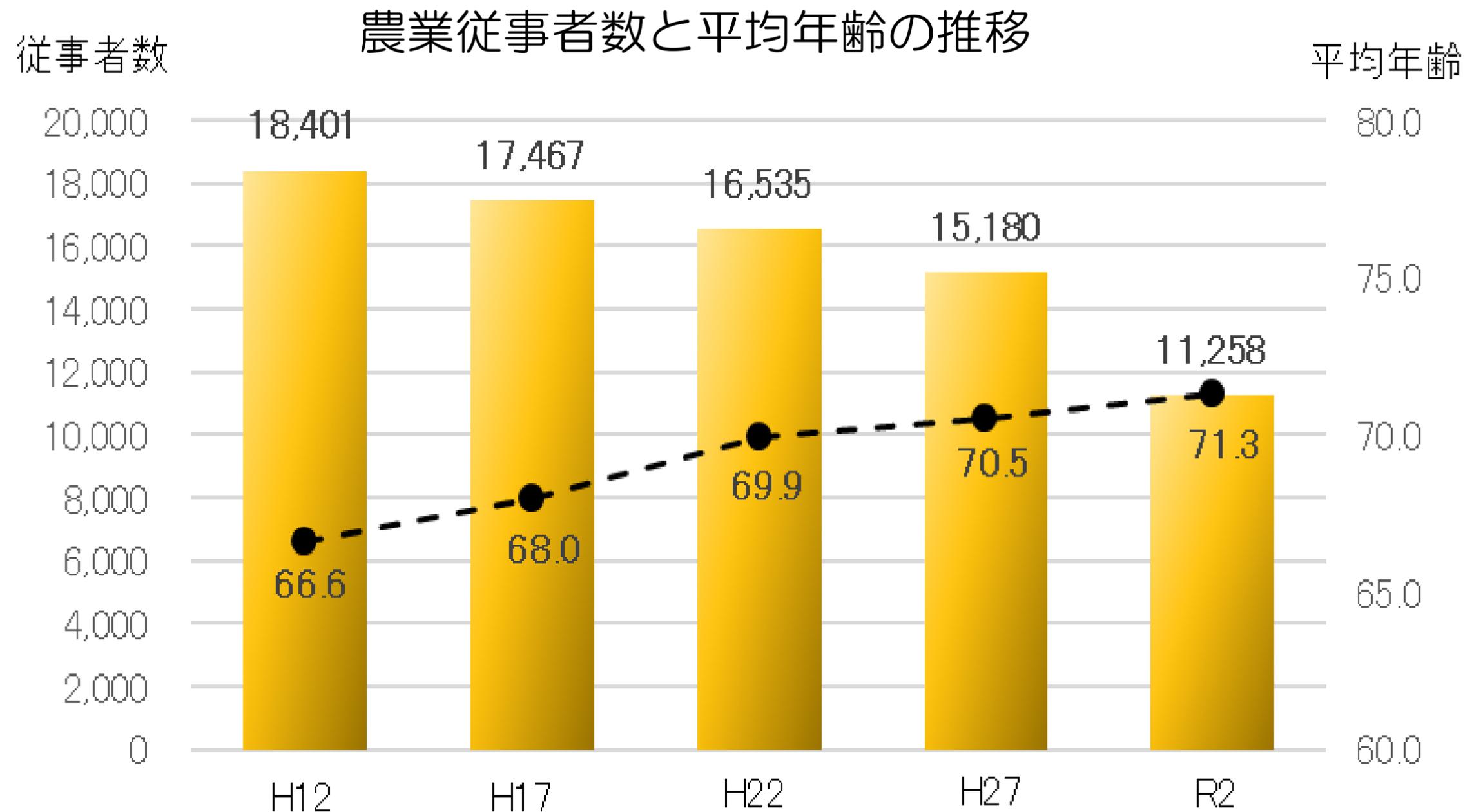
- 農家数は急激に減少 6万戸 (H2) → 1.7万戸 (R2)
- 特に、販売農家数の減少が顕著



出典：農林水産省「農林業センサス」

農業従事者数の減少と高齢化

- 農業従事者数は急激に減少 1.8万人 (H12) → 1.1万人 (R2)
- 農業従事者の高齢化が進み、平均年齢は高い
(本県 71.3歳、全国 67.8歳)

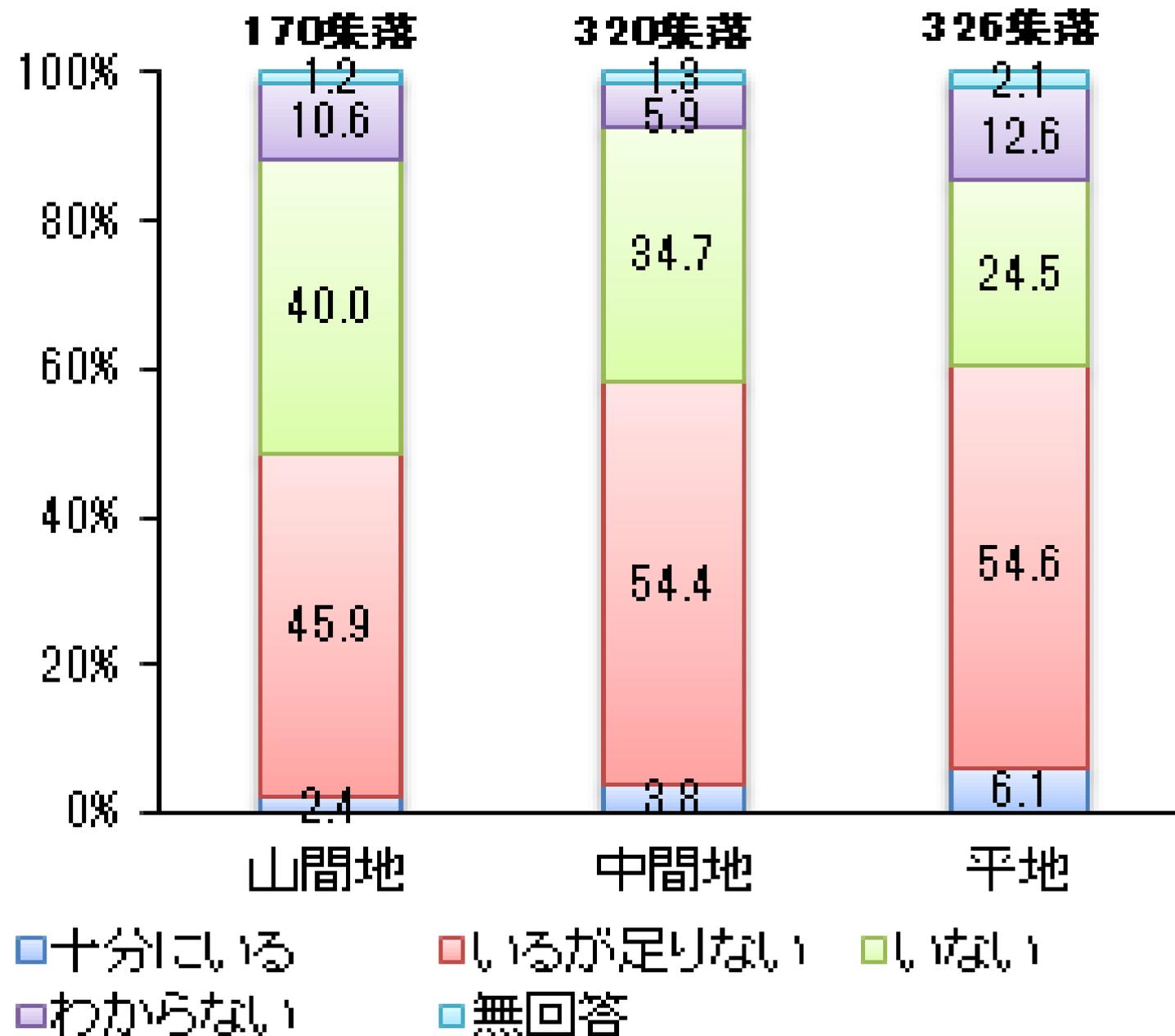


出典：農林水産省「農林業センサス」

農業の担い手不足

- 特に、中山間地域で農業の担い手不足が深刻化

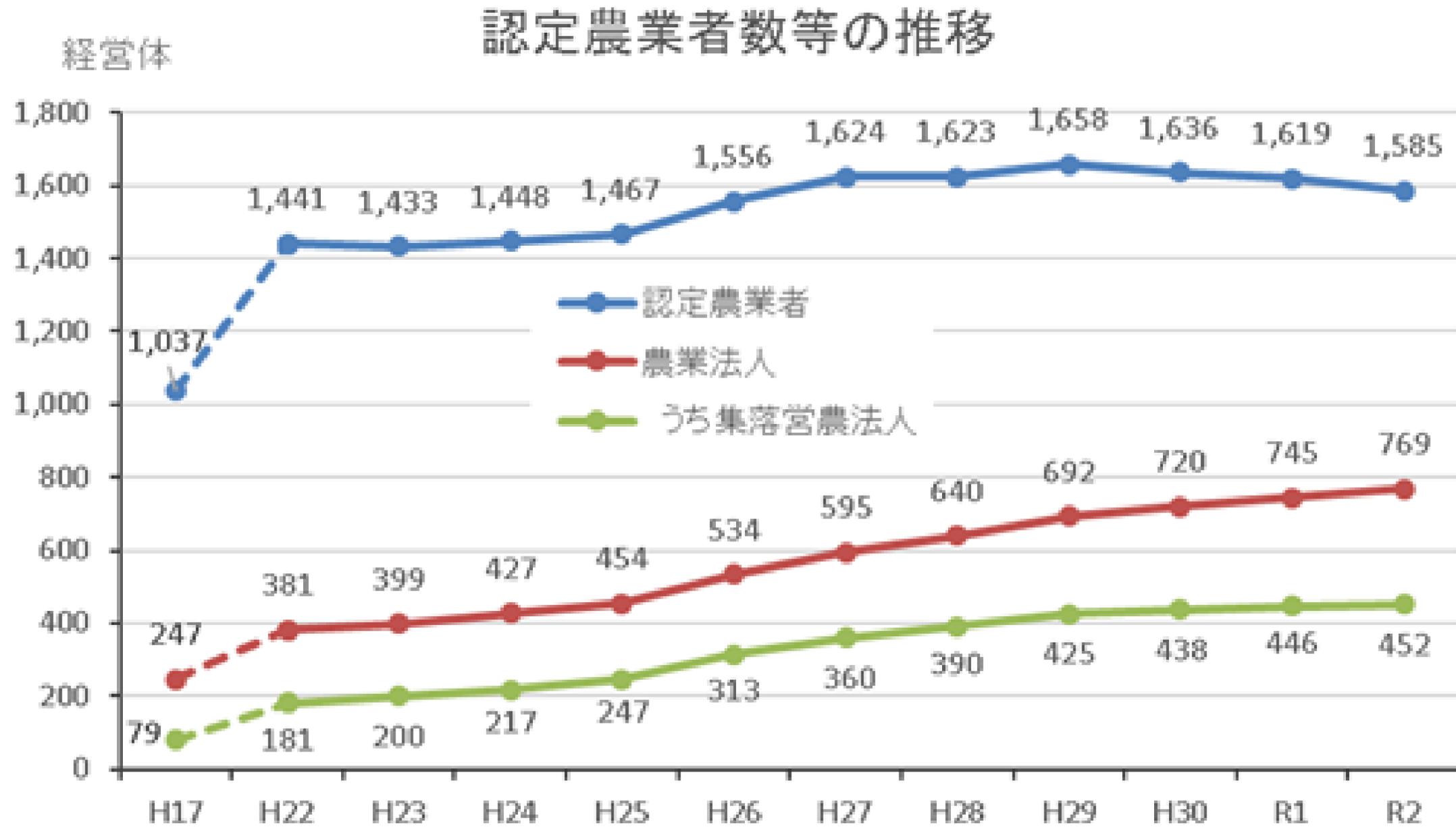
中山間地域における農業を支える担い手の状況



出典：富山県「中山間地域における集落の生活状況等に関する実態調査(H30)」

認定農業者数は減少局面へ

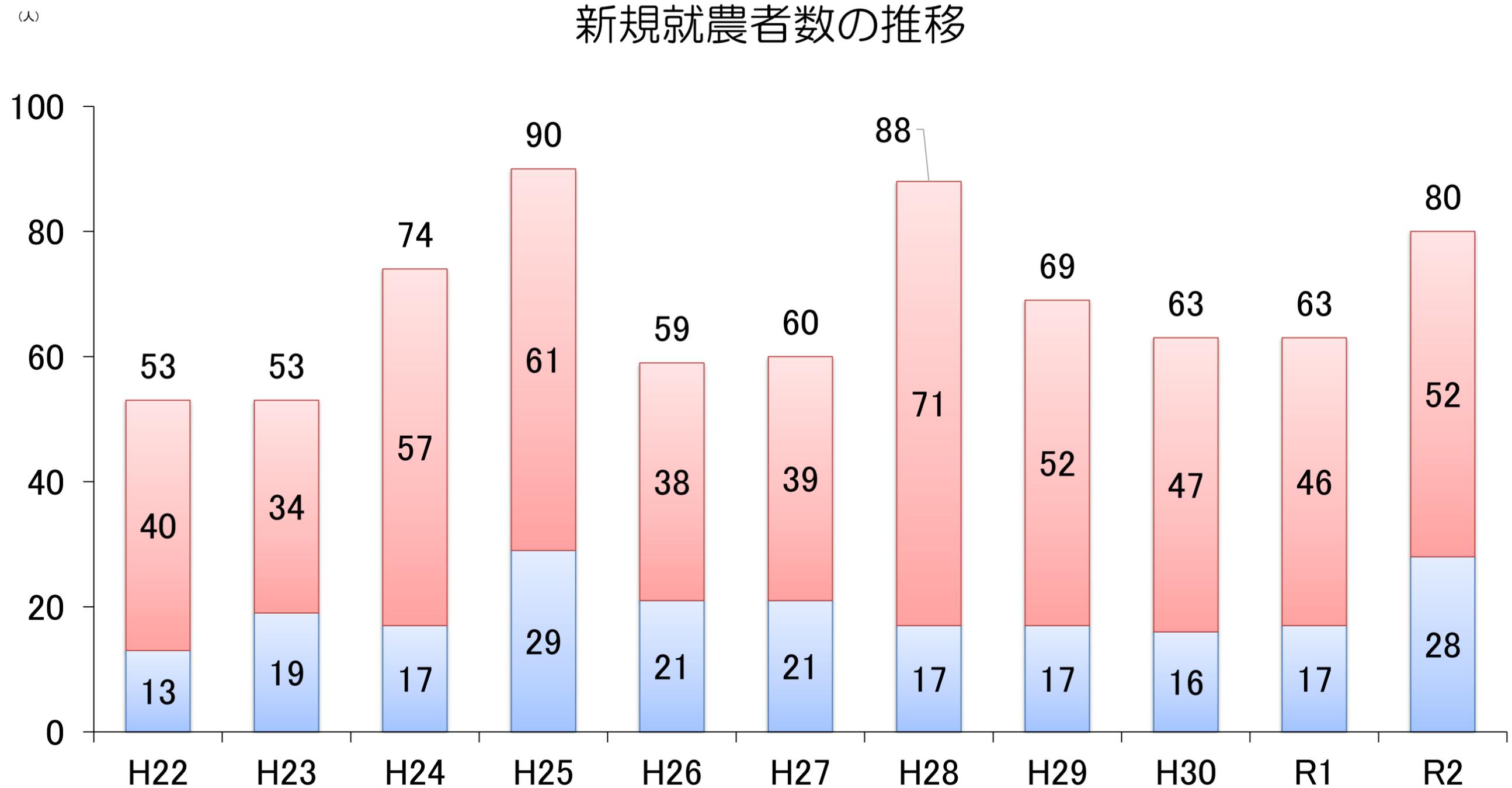
- 認定農業者数はH29をピークに減少へ 1,658 (H29) →1,585 (R2)
- 一方、農業法人数は漸増傾向 769法人 (R2)



出典：富山県農業経営課調べ

新規就農者数の推移

- 新規就農者数は、年間53名～90名（平均68名／年）



出典：富山県調べ

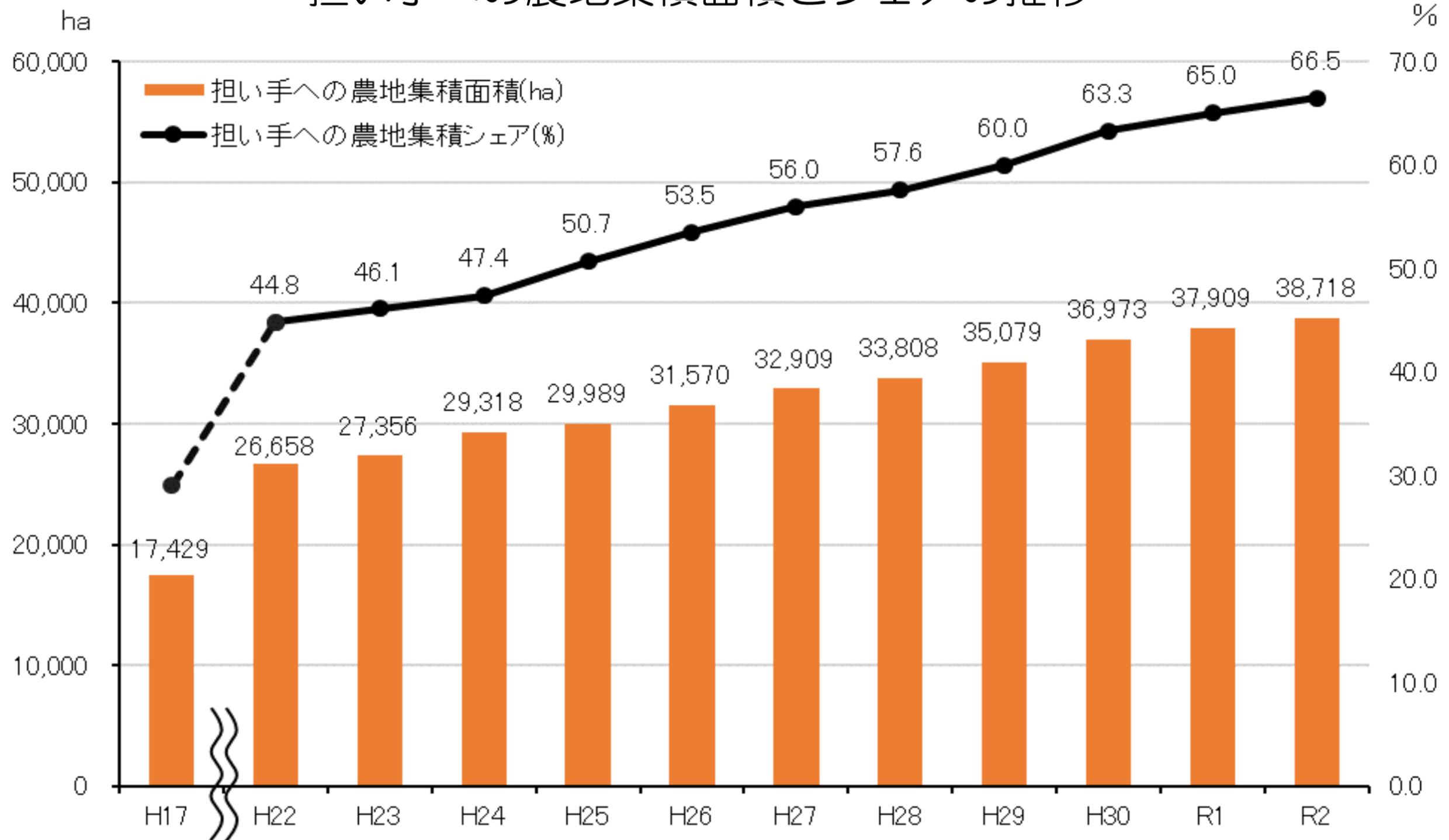
■ 独立自営就農者

■ 雇用就農者

農地の集積・集約化

- 担い手への農地集積が進む 担い手シェア 67.8% (R3)

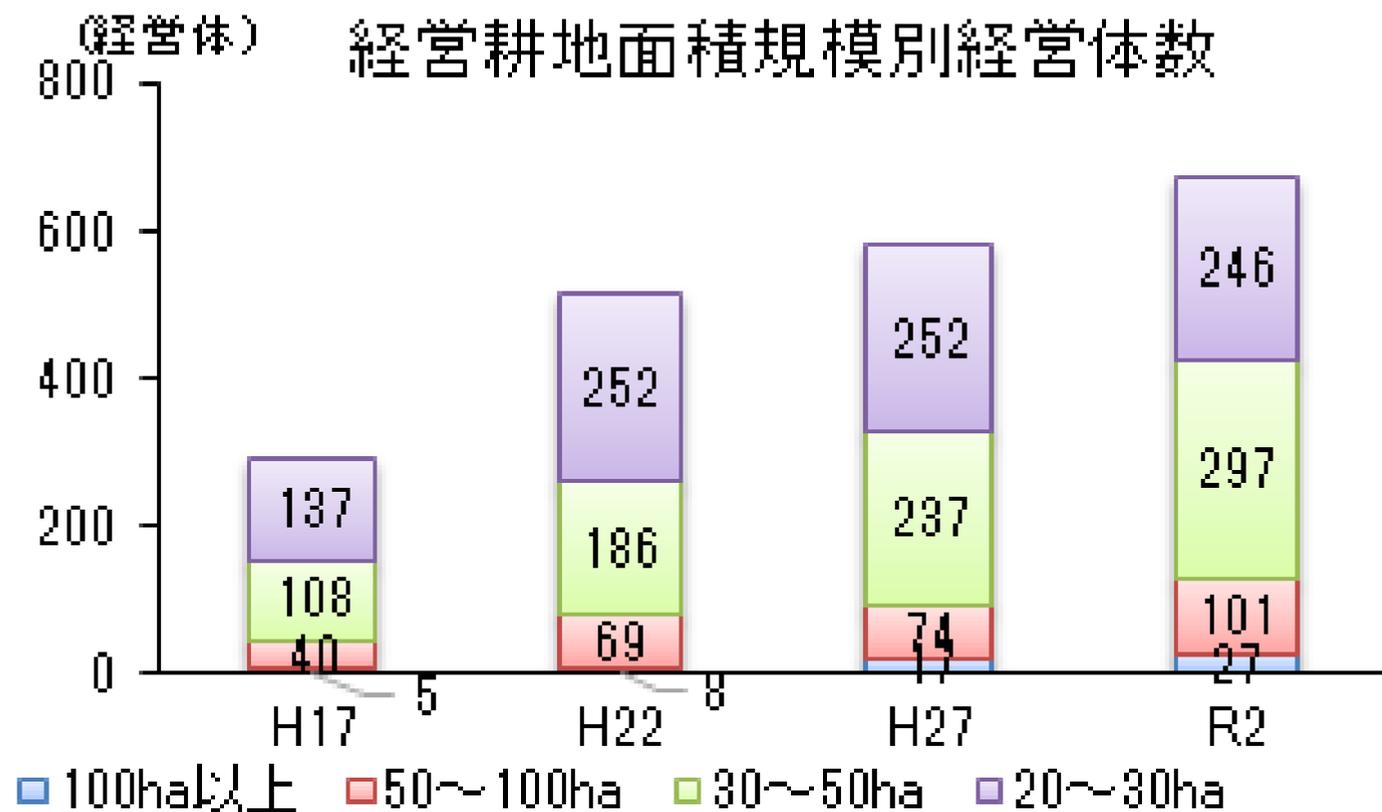
担い手への農地集積面積とシェアの推移



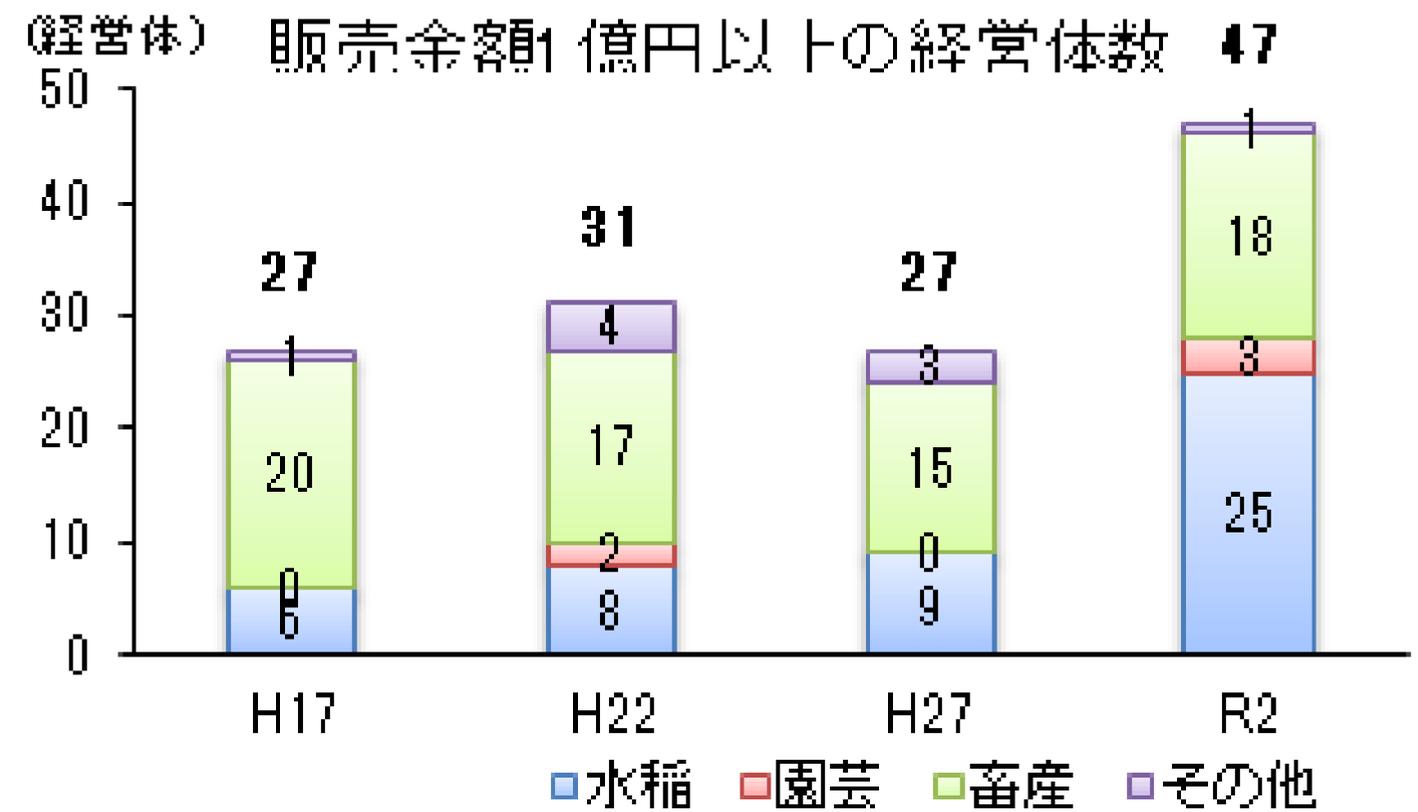
出典：農林水産省「担い手実態調査」

大規模経営体の育成

- 経営耕地面積 **100ha以上** 27 経営体 (R2)
- 農産物販売金額 **1億円以上** 27 経営体 (H27) → 47 経営体 (R2)



出典：農林水産省「農林業センサス」



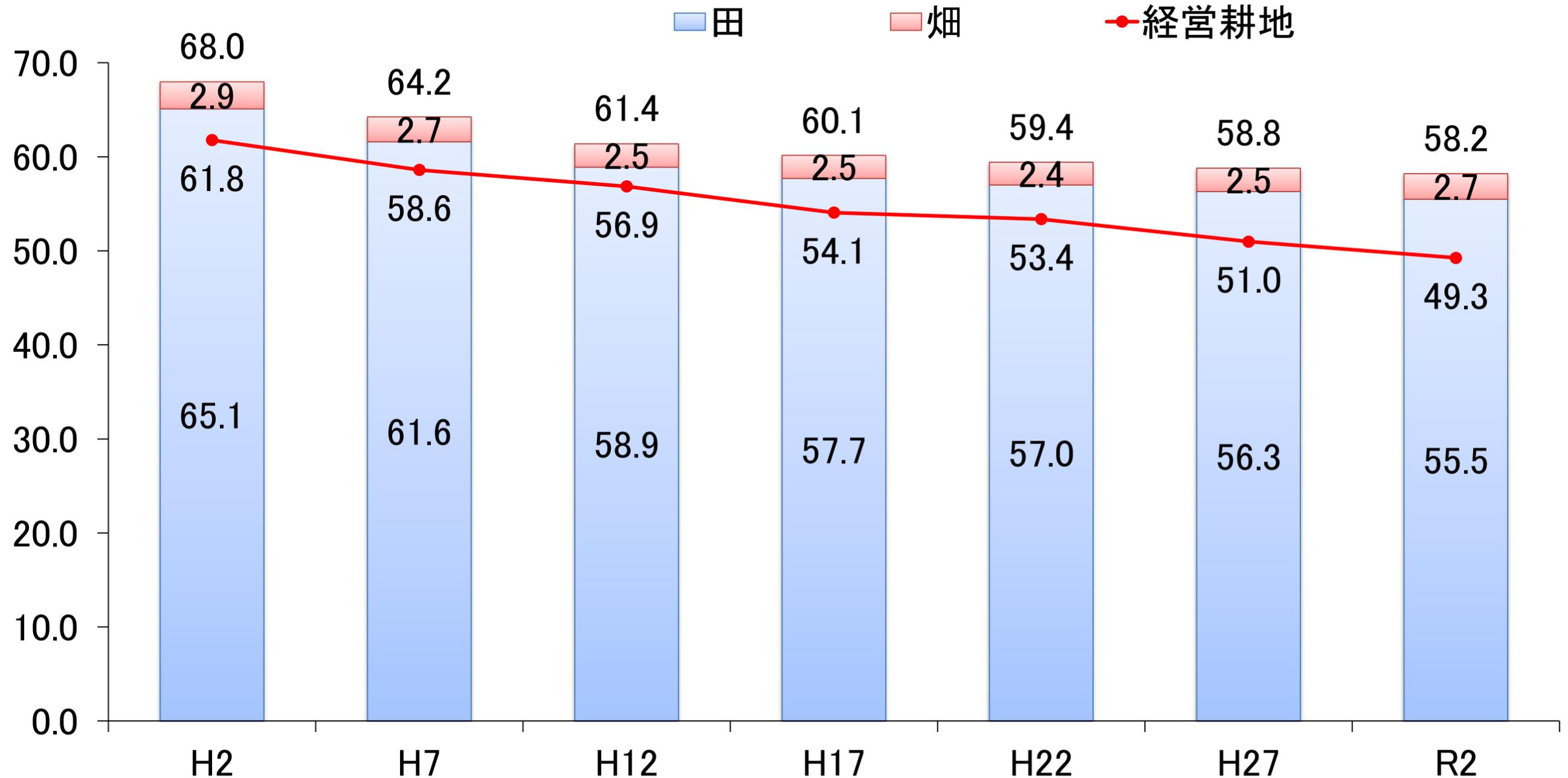
出典：農林水産省「農林業センサス」

耕地面積の推移

- 耕地面積は、農地の荒廃等により減少傾向

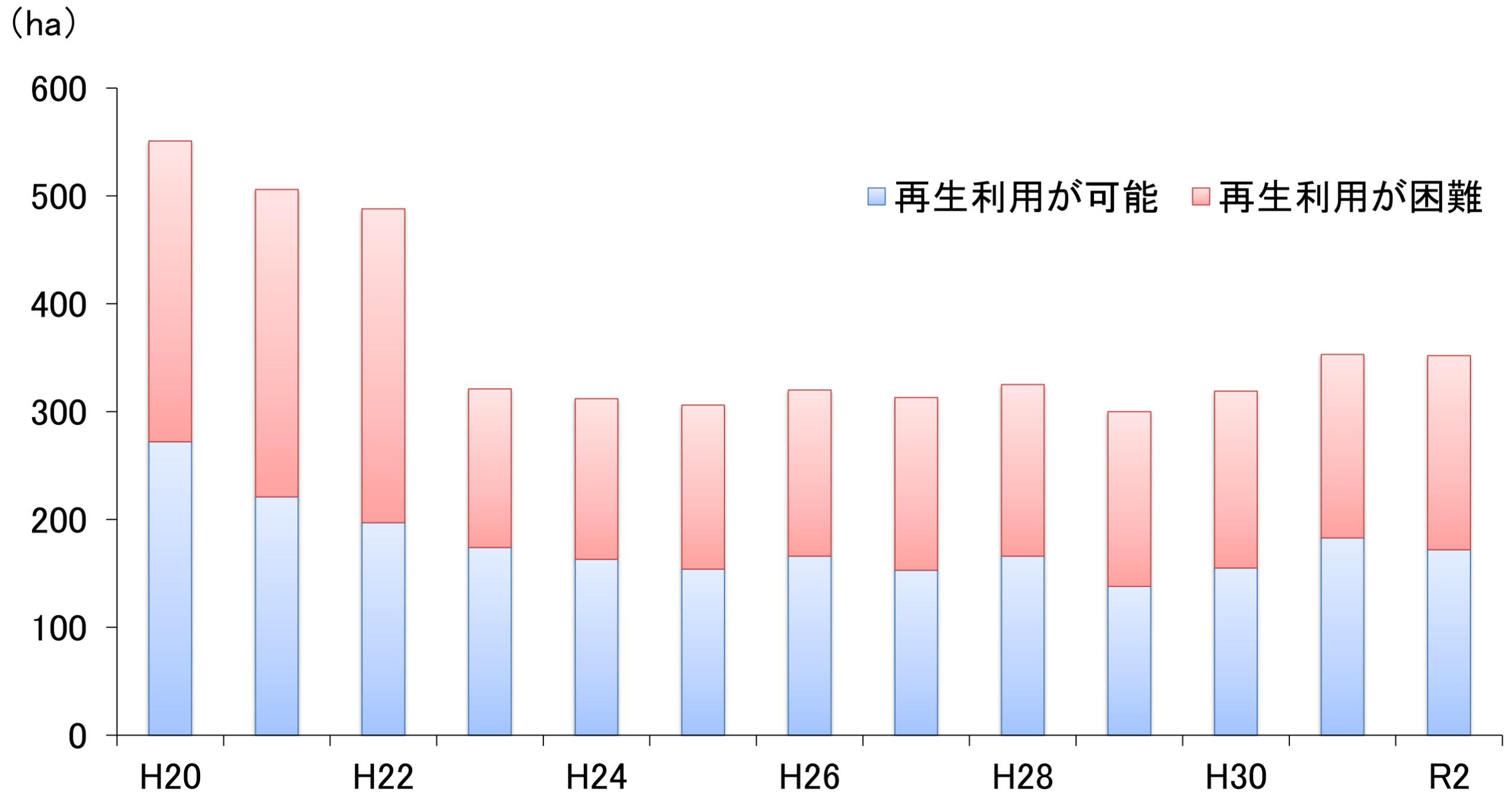
6.8万ha (H2) → 5.8万ha (R2) Δ 1.0万ha

(千ha)



荒廃農地面積の推移

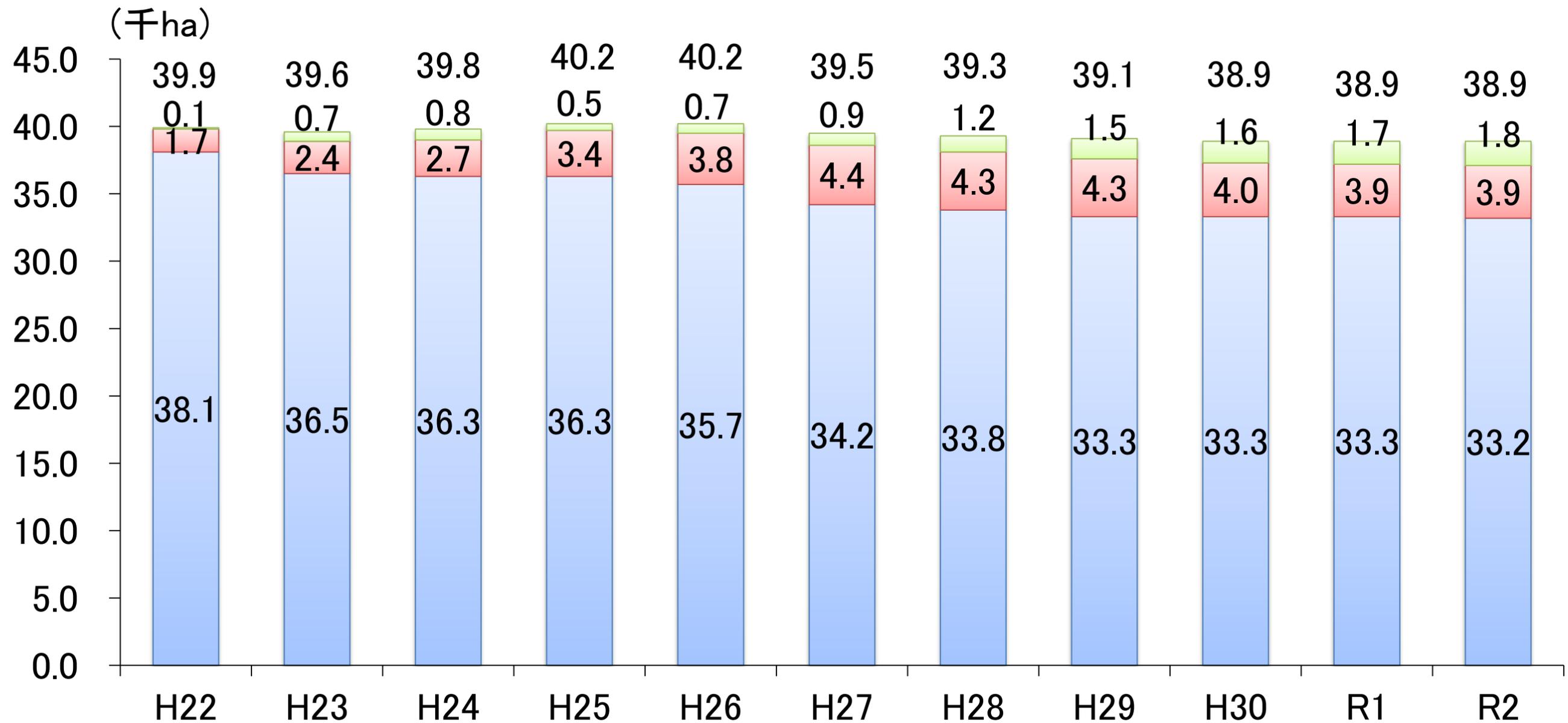
- 荒廃農地面積は300ha余で推移 353 ha (R2) は全国で2番目に少ない



出典：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」
H22までは「荒廃した耕作放棄地等の状況調査」

水稻作付面積の推移

- 水稻作付面積 39,9千ha (H22) → 38.9千ha (R2) △1.0千ha
- うち主食用米 38,1千ha (H22) → 33,2千ha (R2) △4.9千ha

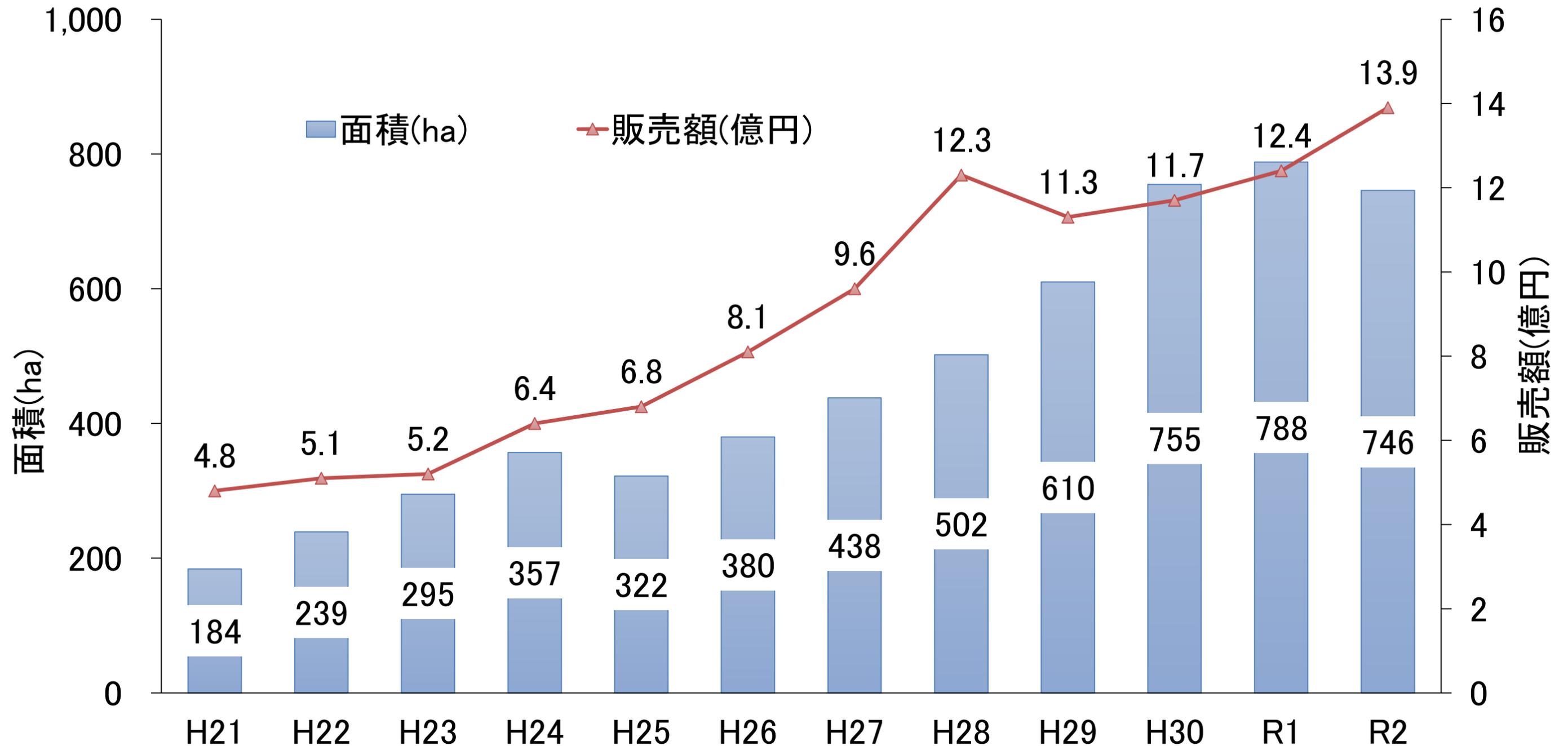


出典: 農林水産省「作物統計」

■ 主食用米 ■ 非主食用米 ■ WCS等

1億円産地づくり品目の面積と販売額の推移

- 園芸作物の面積、販売額とも増加傾向。ただし、近年は伸びが鈍化



出典：富山県調べ

中山間地域の主要指標

- 県全体に占める中山間地域の割合
 - 総農家数 43.4%
 - 経営耕地面積 40.5%

| 指標 | | 平成27年度 | | | 令和2年度 | | |
|--------------|------|----------|------------|-------|----------|------------|-------|
| | | 県全体 A | 中山間地域 B | B/A | 県全体 A | 中山間地域 B | B/A |
| 総農家数 | (戸) | 23,798 | 9,299 | 39.1% | 17,314 | 7,514 | 43.4% |
| 販売農家数 | (戸) | 16,744 | 5,974 | 35.7% | 11,323 | 4,454 | 39.3% |
| 農業就業人口 | (人) | 21,043 | 7,353 | 34.9% | 29,251 | 11,249 | 38.5% |
| 経営耕地面積 | (ha) | 50,984 | 17,724 | 34.8% | 49,381 | 19,980 | 40.5% |
| 経営耕地面積 /戸 | (ha) | 2.1 | 1.9 | — | 2.9 | 2.7 | — |
| 水稻作付面積 | (ha) | 39,155 | 13,965 | 35.7% | 35,891 | 14,988 | 41.8% |